

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		平成18年10月～	
総合計画	大項目	基本目標	06 健全で自立したまちづくり
	中項目	基本施策	01 簡素で効率的な行財政運営
	小項目	施策	16 その他事務管理(戸籍等)
事務事業名		04	旅券発券事務
根拠法令・例規等		旅券法ほか	
問		担当課(室)	市民課
合		職・氏名	市民係長 大村恭子
先		電話	0869-64-1818
		このシート作成に要した時間	2.5 時間

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	市内に住所または居所を有する住民
目的(何のために)	旅券の交付を受ける住民サービスの向上
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	県から市に事務が移譲され、住所地等での申請受付ができることにより利便性が向上した。また本籍地が市内であればワンストップサービスが実現できるようになった。

事業の目的、対象、内容を考えてながら妥当性の評価を行って下さい

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	旅券発券事務	旅券の新規発給、記載事項の訂正、紛失、増補、渡航先の変更	

事業費や単位当たりコストは留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額	直接事業費	千円	2,275	2,374	2,432
	必要人員(人件費)	千円	0.15人	0.16人	0.16人
	事業費計	千円	2,878	3,651	3,504
	国県支出金	千円	521	585	583
	受益者負担	千円			
	繰入金	千円			
	その他()	千円			
一般財源	千円	2,357	3,066	2,921	
受益者負担比率	%		-	-	
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	旅券の新規発給件数	説明	1件あたりにかかる事務時間(分)		
	結果指標量	事業	834	795	881
	対前年比	%	-	95.3%	110.8%
	活動コスト	円	2,827,152	3,657,040	3,445,339
単位当たりコスト	円	3,390	4,474	3,911	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
旅券発券事務	目標値(A)	15.00	13.00	10.00	10.00
	実績値(B)	15.00	19.00	20.87	到達目標値
	達成率(A/B)	100.00%	68.42%	47.92%	10.00
成果指標設定の考え方・式や説明					
1件あたりにかかる事務時間					

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> B
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> A
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している	有効性評価 <A-E> C

留意するの目的が、その数値目標を達成して下さい

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	事務処理を正確、適切かつ迅速にするために、事務研修の積極的な参加及び職場内研修等を引続き実施する。また接遇面においても親切、丁寧な対応に努める。					

総合評価	
平成18年10月から移譲された事業であり、市民にも浸透してきた事業であるため、利用者は年々増加している。そのため市民の方に満足していただけるよう、研修等の参加により、職員の知識を向上させ、事務処理の時間を短縮させるよう努力してきた。	評価区分 <A-E> B

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	引続き、1件あたりにかかる事務処理時間の短縮に努めながら、親切、丁寧な対応を心がけ、お客様の満足度を高めていく。					